



2026年6月3日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 e n i s h  
住 所 東京都港区六本木六丁目1番20号  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 安 徳 孝 平  
(コード番号: 3667)  
問 い 合 わ せ 先 管 理 本 部 管 理 本 部 長 高 木 和 成  
TEL.03 (6447) 4020

## Solana を活用した「アクティブ・トレジャリー事業」に関するお知らせ

当社は、2026年4月22日付「新たな事業（アクティブ・トレジャリー事業）の検討開始に関するお知らせ」において、暗号資産を活用したアクティブ・トレジャリー事業の推進に向けた検討開始について公表いたしました。

その後の検討の進展を踏まえ、このたび、Solana ブロックチェーンのネイティブトークンである SOL（以下「SOL」といいます。）を中核とする「アクティブ・トレジャリー事業」を開始する方針を決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本事業の開始につきましては、2026年6月9日開催予定の臨時株主総会における定款変更議案等の承認を条件としております。

### 記

#### 1. 事業開始の背景および目的

近年、企業による暗号資産の保有および運用、いわゆる「Digital Asset Treasury (DAT)」への取り組みがグローバルに拡大しております。海外では Bitcoin (BTC) 等を活用した財務戦略が注目を集めており、日本国内においても暗号資産を中長期的な資産として保有する企業事例が増加しております。一方で、従来型の DAT モデルは、主として暗号資産価格の上昇による評価益を前提とする側面が強く、継続的かつ安定的な収益基盤としては課題も存在していると当社は認識しております。

当社は、このような従来型の「保有中心」の DAT を「DAT 1.0」と位置付ける一方、デジタルアセットを活用した収益創出および事業成長との循環を伴う新たなモデルを「DAT 2.0」として捉えております。単なる保有に留まらず、ステーキング等による利回り機会の獲得、ゲーム事業との連携、ユーザー価値向上への還元等を通じて、より持続的な事業モデルの構築を目指してまいります。

当社はこれまで、モバイルゲーム事業を通じて、開発・運営等に関する知見を蓄積してまいりました。また、DAT 領域においても、Bitcoin (BTC) の保有に加え、第 22 回新株予約権による資金調達を通じた SOL 保有方針を公表しております。

このような背景を踏まえ、当社は単なる暗号資産保有ではなく、デジタルアセットを活用した収益創出およびゲーム事業との循環的な価値向上を目的として、SOL を中核とする「アクティブ・トレジャリー事業」を開始することといたしました。

また、当社は今後、「ゲーム×DAT」を軸とした新たな事業展開を推進していく方針であり、本事業を通じて得られる運用知見、デジタルアセット運用データ等についても、中長期的な活用可能性を検討してまいります。

#### 2. 事業の概要

本事業は、SOL を中心としたデジタルアセットの保有および戦略的運用を通じて、ステーキング等による継続的な収益機会の創出を目指すものです。

当社は、ゲーム事業およびその他の新規事業から生み出されるキャッシュフローの一部をデジタルアセットとして運用し、その運用益を将来的なゲームユーザーへの価値還元や新規事業投資等へ活用することを検討しております。また、当社は、ゲーム事業とデジタルアセット運用との循環的な成長モデルの構築を目指しております。具体的には、ゲーム事業による収益創出、SOL の保有・運用、ス

ゲーキング等による利回り獲得、ユーザー還元によるコミュニティ活性化を相互に連動させることで、中長期的な事業成長につなげていく構想です。

このような循環モデルは、当社内において「ゲームと Solana をつなぐフライホイール」と位置付けており、単なる暗号資産保有とは異なる、事業成長と連動した運用モデルの構築を目指しております。

本事業においては、単なる暗号資産保有に留まらず、以下のような取り組みを推進してまいります。

- ・ SOL を中心としたデジタルアセットの保有および戦略的運用
- ・ ステーキング等を通じた継続的な利回り機会の獲得
- ・ リスク管理方針に基づく資産配分およびリバランス運用
- ・ 運用益の一部を活用したゲームユーザーへの価値還元施策の検討
- ・ Solana エコシステムとの連携可能性の検討
- ・ 外部パートナーとの連携可能性の検討
- ・ 取締役会を中心としたガバナンス体制の構築

また、本事業の推進にあたっては、デジタルアセット運用、Web3 領域、機関投資家対応等に関する知見を有する外部専門家とも連携しながら、運営体制およびガバナンス体制の整備を進めてまいります。

なお、本事業における当初の運用規模につきましては、既保有デジタルアセットおよび第 22 回新株予約権による資金調達の見込み等を踏まえ、7 億 2 千万円程度を段階的に開始することを想定しております。ただし、実際の運用規模、取得時期および資産配分につきましては、市場環境、資金調達状況、リスク管理方針等を総合的に勘案のうえ決定してまいります。

### 3. 中核デジタルアセットとして SOL を採用する理由

当社は、本事業における中核デジタルアセットとして SOL を採用する方針です。当社はゲーム会社であることから、単なる資産保有目的ではなく、将来的なゲーム・エンターテインメント領域との親和性を重視し、中核デジタルアセットとして SOL を採用する方針としております。

Solana は、高速かつ低コストなトランザクション処理性能を有しており、ゲーム、エンターテインメント、Web3 サービス等との親和性が高いブロックチェーン基盤の一つであると認識しております。

また、Solana エコシステムにおいては、ゲーム、NFT、コミュニティサービス等の領域で開発事例が拡大しており、当社が今後推進する可能性のある Web3 関連事業との連携可能性も期待されます。さらに、SOL はステーキングによる利回り機会が存在することから、単なる資産保有に留まらない運用型デジタルアセットとしての特性を有していると考えております。

当社は、将来的にゲーム事業、コミュニティ形成、Web3 領域との連携可能性も視野に入れながら、Solana エコシステムとの関係構築を進めてまいります。

### 4. 推進体制

本事業の推進にあたり、当社は、デジタルアセットおよび Web3 領域に関する知見を有し、当社取締役候補者である垣谷昌孝氏を中心とした体制整備を進めております。

垣谷氏は、伝統金融および Web3 領域双方における経験を有しており、デジタルアセット戦略、Web3 関連ネットワーク構築、リスク管理体制整備、海外ブロックチェーン関連企業との連携等への関与を予定しております。

また、当社は、取締役会を中心としたガバナンス体制のもと、外部専門家とも連携しながら、リスク管理および情報開示体制の整備を進めてまいります。なお、垣谷氏の取締役就任につきましては、2026 年 6 月 9 日開催予定の臨時株主総会における承認を条件としております。

#### 垣谷昌孝 コメント

「私は 20 年以上にわたり、金融および Web3 領域に携わってきました。

Solana は、高速性・拡張性に優れ、ゲーム・エンターテインメント領域との親和性が高いブロックチェーン基盤であると考えています。

当社がこれまで培ってきたゲーム運営ノウハウと、デジタルアセット運用を組み合わせることで、新たな価値創出および中長期的な企業価値向上につなげていきたいと考えています。」

## 5. 今後の検討内容

当社は、本事業の推進にあたり、以下の事項について検討を進めてまいります。

- ・デジタルアセット運用方針およびリスク管理体制の整備
- ・ステーキング等を活用した運用戦略
- ・ゲーム事業との連携施策
- ・ユーザー還元施策の設計
- ・Web3 関連パートナーとの連携可能性
- ・法務・会計・税務・規制
- ・DAT 事業との中長期的な連携可能性

## 6. 今後の見通し

現時点では、本件による 2026 年 12 月期の当社業績への影響は未定です。

本事業は、新たな収益基盤の構築および Web3・DAT 領域における中長期的な事業機会の創出を目指すものです。また、Solana エコシステムへの継続的な関与を通じて、デジタルアセット運用に関する知見の蓄積、ゲーム事業およびその他の新規事業との連携可能性についても検討を進めてまいります。

当社は、引き続き、事業リスクおよびボラティリティ管理に留意しながら、ガバナンス体制および情報開示体制の整備を進めてまいります。今後、本事業に関して、具体的な投資規模、運用方針、開始時期その他開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上